

Kochi Normalization

ノーマライゼーション

高知市障害者福祉センター

Vol. **32**
2011.10

特集!

障害のある人の自動車運転 2~3

工夫した車 4~6

なぜ、車いすマークの駐車場は、
広くて入口の近くにあるの? 7

リレーエッセイ 8

インフォメーション



特集

障害のある人の 自動車運転



自動車は誰もが必要とする移動手段の一つです。特に高知県では都会のように充実した公共交通機関も少なく、車は必需品です。自動車を運転する人の中に障害のある人もいます。では、障害のある人はどのように運転をしているのでしょうか。今回の「ノーマライゼーション」では障害のある人の自動車運転を特集します。



障害のある人は障害のない人と同じように自動車運転免許が取れるのかな？

障害があっても自動車学校に通って免許を取得することができます。

ただ、障害のある人が免許を取得するには、吾川郡いの町にある運転免許センターで**運転適性検査**を受けて、自分の体に合った運転の仕方を判定してもらい、検査に合格したあと自動車学校を卒業し、自動車運転免許試験を受け取得します。



障害がなかった頃に免許を取った人が、病気や事故などで障害をもった場合はどうすればいいの？

免許取得後に障害をもった場合や障害の程度が変わった時も、適性検査を受けて自分の体に合った運転の仕方を判定してもらいます。





では、適性検査はどんなことをするのか？

自動車運転適性検査の流れ

運転免許センターに電話予約



適性検査を受ける

身体機能の評価／聴力検査／視力検査 等



適否の判定



運転免許を取得していない方は、適性検査に合格すると
自動車学校で教習が受けられるようになります。
卒業後に試験を受け、運転免許を取得します。

適性検査を受ける方には、実際に自動車に乗ってもらいます。



この自動車は今年の2月に入ったばかりの新車です。車いすの人、半身まひの人など、
様々な身体障害のある人にも運転できる車になっています。

皆さんは車いすの人、半身まひの人、聴覚に障害のある人がどのように運転をしているかご存知でしょうか。車いすの人はアクセル・ブレーキをどのように操作するのでしょうか。右半身まひの人は、できない分の操作を左手・左足でどのように補っているのでしょうか。聴覚に障害のある人は周りの音が聞こえないため、どのような工夫をしているのでしょうか。障害をもって、実際に運転している3名の方にお話を聞いてみました。

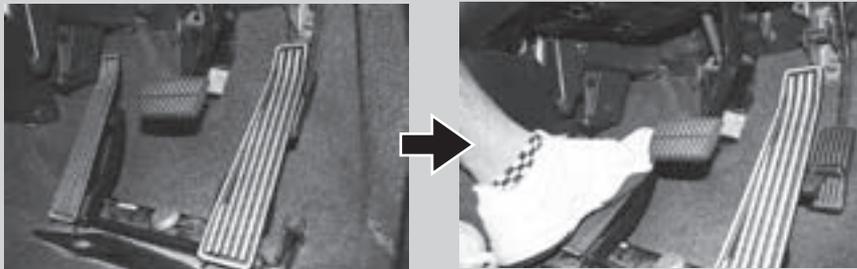
Q1 障害は？

A1 右手と右足に障害があります。



Q2 運転しやすいように工夫されていることはありますか？

A2 **工夫1** 僕の車は左足でアクセルが踏めるようにしています。



※上の写真の装置は左右共にアクセル。使う時は左右どちらかだけになるので、使っていない方のアクセルにはロックがかかり安心です。

工夫2 ウィンカーを操作しやすくするために、通常より長くしています。



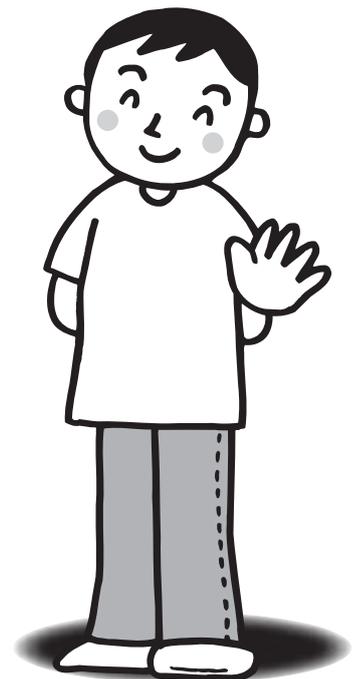
工夫3 左手だけでハンドルを回しやすいように**旋回装置**を付けています。

※旋回装置・・・下の写真のハンドルの左上部にあるノブのようなもので、片手でも回せるようになっています。



◆右半身まひのあるAさん

工夫した車





Q1 障害は？

A1 せきずいそんしょう 脊髄損傷という障害で下半身が不自由なので、車いすで生活をしています。
首の骨を折っているために握力も1～2kgぐらいです。
だいたいイメージとしては紙コップが潰せるか潰せないかぐらいです。

Q2 運転ができて便利だと思えることはありますか？

A2 行動範囲が広がることですね。

Q3 運転しやすいように工夫されていることはありますか？

A3 アクセル・ブレーキを足で踏めないで、右手で旋回装置を持って、左手で**手動装置**（アクセル・ブレーキ・クラクション・ウインカー）を操作して運転しています。



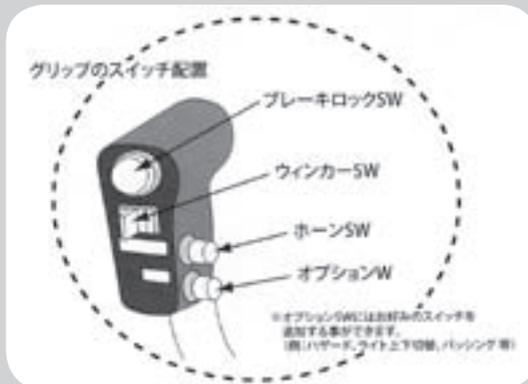
前方に押すとブレーキ



手前に引っ張るとアクセル



グリップのスイッチ



◆車いすに乗っている暮らし



Q1 障害は？

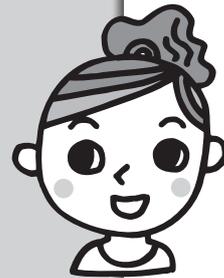
A1 聴覚障害です。

Q2 どれくらい聞こえるのですか？

A2 ほとんど聞こえません。

Q3 運転しやすいように工夫されていることや、気をつけていることはありますか？

A3 耳から情報をつかむことが困難なため、ルームミラーをワイドミラーに変えて、視野の範囲を広げています。また、目配りで周囲の状況を的確につかみ、エンジンなど振動の異変から車の状態に注意し、安全運転を心掛けています。



◆聴覚に障害のあるひょうこ



高知県警察本部
運転免許センター
岡田 訓さん

これから運転免許取得に挑戦したい方へ

運転免許を習得するためには、免許センターの適性相談室にご連絡ください。これは、相談される方々の障害の内容が一見して同じように見えても、それぞれの障害のある方が使用している補装具や、障害の発生年齢によって残った運動能力に大きな個人差があるからです。

自動車を安全に運転するためには、身体の障害の状態に応じた補助手段を構する必要があります。

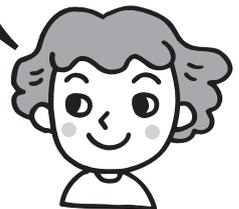
また、障害者用にあらかじめ改造した自動車を持ち込んで自動車学校で教習を受けることもできます。どうぞ、お気軽にご相談ください。



なかには、車いすの人でマニュアル車を運転している人もいます。今、障害があっても自動車運転を諦めている人、運転免許センターでもう一度自動車運転に挑戦してみたいでしょうか。



障害があっても努力や工夫をすることで運転もできるんだね。



運転免許センターの問い合わせ先

高知県警察本部交通部運転免許センター 運転適性相談係 TEL / FAX 088-893-1221



なぜ、車いすマークの駐車場は、広くて入口の近くにあるの？

Q1 なぜ、車いすマークの駐車場は広いの？

A1 障害によっては、車のドアをいっぱい
に広げて乗り降りをするため、駐車スペースを広く取る必要があるのです。

Q2 なぜ入口の近くにあるの？

A2 障害によっては、自力で遠くまで移動
するのが難しい人もいますので、入口の近くにあります。また雨が降った場合に、なるべく濡れないように屋根がついている所が多いです。



このマークは「すべての障害のある人」を表しています。

みなさんは公共施設やスーパーマーケットで、車いすマークの駐車場を見たことはありませんか。このマークの駐車場は、必要としている人が駐車する大切なスペースになっていきます。では、どのような人が必要としているのかご存知でしょうか。



このマーク見たことあるかも!?

車いすマークの駐車場は障害のある人だけではなく、高齢、難病などによって移動に配慮が必要な人、また、妊産婦、怪我などにより一時的に移動に配慮が必要な人が使ってもいいんですよ。今、高知県でも車いすマークの駐車場を適正にご利用いただくため、県内共通の利用証（こうちあったかパーキング制度）を交付しています。



申請受付：高知県障害保健福祉課
TEL088-823-9663

僕は車いすで生活しているんだけど、車いすマークの駐車場を、必要としない人に停められていて、その店に入るのを諦めたこともあるよ。

ちなみに、僕はこんなふうに車いすマークの駐車場を使っているよ。



ドアを開けて…



車いすから運転席へ
乗り移り



車いすを持ち上げて…



後部座席へヨイショ!

どうして広いが、わかったよね。だから「車いすマークの駐車場」を必要としない人は、入口に近いといって駐車したらダメなんだね。





「取って良かった 運転免許」

中村 覚

二十歳ぐらいの時に原付の免許を取りました。その後、周りの友人が車の免許を次々と取って行く中で、「まあ（自分は）原付があれば十分だろう」と思っていました。ところが、父が病気をし、車に乗らなくなっただけをきっかけに、しかたなく免許を取りました。

ですから、当初は「取りたくて取った免許」ではありませんでした。しかし現状だと、母の運転で出かける以外、父は外出ができません。今まで行っていた、喫茶店や趣味の畑（畑作り）、ちょっとした買い物など、車での小回りが全く利かなくなりました。こうなると当然、家に居る時間

が長くなり、結果的に日常の運動量も減って...となります。ちょっとした外出で何気なく歩くことがリハビリになったり、気分転換にもなることを考えると、もう今までのように母の運転にだけ頼るのではなく、私も免許を取って父を乗せ、父の好きな時に好きなだけ、うっとうしい親孝行過ぎて、涙が止まりません（笑）。



いざ車に乗り始めると運転が面白い！単純に原付よりも遠くに行ける、荷物もたくさん積める、雨、風に左右されにくい、そしてシートに背中をあずけて運転できるのがこんなに楽しいのだと意外でした。長時間の運転になると、

もちろんしんどくなりますが、原付より圧倒的に楽だな〜と実感しています。

免許の取得中は途中、体調不良などがあり自動車学校に行ったり、行かなかったりとした時もありましたが約8ヶ月かけて免許を取りました。教習の有効期間は9ヶ月以内だったので自分のペースで免許を取得できたことがとてもありがたかったです。

この運転免許センターでは、障害のある方を対象に運転に関する相談窓口があるので興味のある方は是非、一度相談してみてください。

Information インフォメーション



障害のある人の運転教室

肢体に障害があり自動車の運転に不安を抱いている方、挑戦しようと考えている方へ、実技を含めた講習を行います。

- ◆日時：平成23年11月19日(土)13:00~15:00
- ◆場所：高知県自動車学校（高知市一宮中町3丁目1-2）
- ◆対象：高知市内に住所を有する肢体に障害のある18歳から64歳の方
- ◆参加費：無料
- ◆定員：6名程度
- ◆締め切り：11月11日(金)
- ◆お問い合わせ・申し込み：高知市障害者福祉センター
TEL 088-873-7717

第32回中央地区身体障害者大運動会 —ファンFUNチャレンジフェスティバル—

肢体・聴覚・視覚・内部等、色々な障害を持つ方とボランティアがともに企画、運営し、障害の有無や種別に関わらず、みんなで楽しめる運動会が開催されます。賞品もたくさん用意していますので、どなたでもご参加ください。当日は体育館シューズをご持参ください。

- ◆日時：平成23年10月30日(日)
10:00~15:30 (受付9:00~)
- ◆場所：県民体育館（高知市棧橋通2丁目）
- ◆対象：●高知市内に住所を有する障害のある方（肢体・聴覚・視覚・内部等）
●ボランティアに興味があり障害のある方と共に運動会を楽しみたい方。
- ◆締め切り：10月25日(火)
- ◆参加費：無料 ※参加者のお弁当はこちらで準備しますので、ご希望の方は10月25日までに申し込んでください。
- ◆お問い合わせ・申し込み
特定非営利活動法人・高知市身体障害者連合会
TEL/FAX 088-872-3880



編集後記

車の運転は誰もが楽しめて便利なものですが、同時に、誰もがお互いに危険と隣り合わせであることを理解して運転しています。これもノーマライゼーションの一面ではないかと取材を通じて感じました。